

編集後記

今回の視察はたくさんの方々にお世話になりました。言葉に表せないほどの感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

今回の視察の取り組みとして「税を利用させていただいての視察である」という事を忘れずに、視察行程に配慮しつつ、出来る限り費用を削減できるように工夫させていただきました。行程を作成する際には、各国のエアーラインの価格を比較検討するなど、選択できる中において、効率的かつ安価な方法を採用するようにいたしました。最終的には航空便の時間的關係から日本航空利用になりました。その他もできるだけ費用を削減するように議会事務局と打ち合わせを重ねました。行程も工夫の結果、受け入れ先様にもご協力いただきまして、日曜日にも視察をさせていただきました。

しかしながら、時間的に大変厳しいタイトな視察となりました。残念なのは、時間の余裕がなく、現地のスーパーマーケットなど人々の暮らしに直結した場所なども訪れ、生活環境を地肌で感じる事が出来なかったことが心残りでした。特に冬のフィンランドは日の暮れも早く、視察からホテルに戻れたのは遅い時間となり、ホテルと視察先の往復のみになってしまいました。首都ヘルシンキから学生の町ユヴァスキュラの往復の際、ほんの少しの休憩時間も休憩所に併設されたスーパーマーケット視察にあて、時間を有効に活用しました。残りの二国もほとんど同様な行程となりました。



移動に使用した小型バス。ここに現地事務所の方々、通訳など総勢7～9名の乗車です。

今回私共は5人という人数で出かけたので、移動するのも苦勞するかなと思いましたが、左記の様なマイクロバスをお手配いただき移動時間を非常に短縮でき、短い滞在時間にも係わらず充実した視察をすることができました。また、行政視察で出かけていますので、現地の方々に大変熱心にご説明をしていただきました。重ねて心より感謝申し上げます。

この報告書はおのおのの議員が担当を持ち、教育・交通政策・消費者保護行政の先進事例を報告させていただきました。したがって、各自のヒアリング、考え方をいかした報告書になっていますので、各章に文責を明示させていただきました。そのことにより、報告書の構成等がまちまちになり、多少読みにくいところがあると思います。ご了承の程お願い申し上げます。

視察させていただいた事例は私どもの記憶にとどまり、さらにこの経験を今後にかかせさせていただくことこそが私どもの活動だと深く心に刻みまして、視察報告書とさせていただきます。



イギリス
リッチモンドの公立中学校の授業風景。
演劇を通じた自己表現法の体験授業

フィンランド
ユヴァスキュラ大学附属
中学校視察中、ロシアの
視察団と交流。



フィンランド
ユヴァスキュラ大学構内
雪の上を走る自転車。
この自転車はスパイクタ
イヤを使っています。

フィンランド
ユヴァスキュラ大学附属
小学校の授業中です。





フィンランド

ユヴァスキュラ大学附属高校
に備えられた「サウナ」です。

デンマーク

地下鉄の駅に向かう地階、階段の脇には、専用駐輪場があります。現地の人は地上の路肩に放置するのが頭痛の種。駐輪場は空いています。



イギリス
伝統校全寮制、
「ハロウ校」の
グラウンド。

手前の陸上トラックの先にはラグビーグラウンド。その先には牧場。9ホールのゴルフ場もあり、この写真のはるか左の道路あたりまでが、学校敷地です。チャーチルもこの学校の出身です。全寮制の学校で、現在日本人の生徒も複数人数おり、学校内・寮内を案内してくれました。なにもかも桁違いのまさに伝統校。

(文責 興津 秀憲)